

IRCA 新規申請 オンライン説明会



本日の内容

- ① CQI IRCAについて
- ② IRCAに登録するメリット
- ③ IRCA登録に関する基本情報
- ④ IRCA 新規申請と提出書類概要
- ⑤ CQI IRCAのCPD
- ⑥ Auditorグレード以上で求められる提出書類
- ⑦ ウェブサイトのご紹介

CQI IRCAについて

CQI (Chartered Quality Institute)

- 100カ国以上で登録者が活躍する英国の公益法人
- クオリティに関する研究・メンバーシップ・研修認定・CPD提供
- 英国王室認可（ロイヤルチャーター）付与
 - ✓ 独自の領域で卓越した専門性
 - ✓ 公益性の高い活動
 - ✓ 確固たる実績
 - ✓ 健全な財政状況
 - ✓ 名前が広く知れ渡っている専門家機関・団体
 - ✓ 例：BSI（英国規格協会）、BBC（英国放送協会）
ケンブリッジ大学、オックスフォード大学など



CQI IRCA メンバーシップ

- IRCAは **International Register of Certificated Auditors** の略称
 - ✓ CQIの提供する資格の一つ
 - ✓ MS審査員/監査員の育成プログラムの開発と評価登録
 - ✓ 世界で認知される資格を提供
- **スキーム（分野）ごとの登録**

14種類の登録スキームを提供（2023年12月よりMD-QMS登録開始）
- **IRCA ジャパン**

2006年に設立されたCQI IRCAの日本法人（CQIの100%子会社）
現在4000を超える審査員・監査員の支援を実施

OEA (Organisation Employing Auditors)

- OEA対象組織
 - ✓ 複数のIRCA審査員が所属する組織向けのプログラム
 - ✓ 組織の目的達成のためマネジメントシステム審査/監査の実効性の向上、社内の監査員の力量開発向上に取り組む組織向け
- IRCAは OEA企業に所属するメンバーの申請手続き（新規・昇格・更新）を支援
- 社内監査員の力量の一括管理
- 事務処理削減・一括請求書の発行・ボリュームディスカウント

研修機関とコースの認定

- 世界レベルの研修基準の開発・提供
クオリティの専門家とマネジメントシステム審査員/監査員向けの
世界最高レベルのトレーニング基準を研修機関に提供
- 世界で認定された研修機関は100ヶ国以上に存在
- 世界共通のIRCA試験
翻訳された同じ試験が各国で実施されている
- CQI and IRCA認定のトレーニングコース合格証→世界中で認知
世界100ヶ国 毎年70,000人以上の受講者

CQI – ISOのリエゾン組織

CQIとISOの関係

ISO規格開発システムの基本原則-利害関係者の関与の保証

- ISO規格が市場のニーズに対応していること
- 世界の専門家のコンセンサスに基づいていること



利害関係者関与の仕組みの一つが“リエゾン”機構

CQI - カテゴリ A のリエゾン

CQI – ISOのリエゾン組織

カテゴリAのリエゾン組織の主な役割

- 委員会の作業に効率的に貢献し、委員会が開発する新しい作業項目を提案することが可能
- ワーキンググループ（WG）に専門家を推薦
- WG内でConvener（取り纏め:招集者や議長）又はプロジェクトリーダーの役割を担うことが可能
- **決議時の投票権はないが、投票プロセスでコメント提出を強く推奨されており、コメント提出可能**
 - * CQIは登録メンバーにコメントを求め、とりまとめてISOに提出
 - * コメントは、メンバー団体のコメントと同等に扱われます

CQI – ISOのリエゾン組織

参考①：

ISOのメンバー団体（Member Body 1団体／国）

日本は、日本標準調査会 JISC（Japan Industrial Standards Committee）

参考②：

リエゾン（カテゴリ A）の代表的な組織

WHO（世界保健機構）、IAEA（国際原子力機関）、

ITC（国際貿易センター）、IAF（国際認定フォーラム）、

EOQ（European Organization for Quality）、

ASQ（American Society for Quality）、

IAQG（International Aerospace Quality Group）、など

IRCAに登録するメリット

IRCAに登録するメリット 1

力量の差別化

- 世界で認知される審査員/監査員として自身の力量を差別化
 - 継続的専門能力の開発（CPD）活動をし、知識と技能の向上および必要な更新を図っていることを示すことが可能
- * CQI IRCAのCPDはご自身の力量向上目標に合わせて自由に実施可能
- 内部監査・二者監査を実施するクオリティプロフェッショナルも世界共通の評価基準と照らして評価

IRCAに登録するメリット 2

クオリティ業界の最新情報とCPDの入手

- [規格に関する最新の一次情報](#)を入手することが可能（ISOリエゾン）
- 弊社が発行する規格に関する解釈を記述した[独自のテクニカルレポート](#)やクオリティ業界に関わる[調査レポート](#)を読み学習可能
- 規格やクオリティプロフェッショナルにかかわる最新情報に関する[メールマガジン](#)を毎月1回受領（「Networks」）
- [業界冊子 クオリティワールドマガジン（オンライン）](#)。IRCAジャパンのホームページで日本語訳の記事を読むことが可能
- [Video](#) – クオリティに関わるウェビナーのビデオ多数
- [Quality Career Hub](#) - メンバー限定のQuality業界 お仕事情報（英語）

Profession Mapについて

Profession Map (日本語版)



Home > The Profession Map プロフェッションマップ

状況 (Context) | ガバナンス (Governance) | 保証 (Assurance) | 改善 (Improvement) | リーダーシップ (Leadership)

ガバナンス、保証及び改善を確実に効果的に実施するために、分野及び/または業界固有の知識を使用する。

顧客及び市場

法規制の要求事項及び自発的な基準 (ISOなど)

パートナー及び供給者

組織の構造及びアイデンティティ

階層	力量の構成要素
1	CA1 組織のセクター、顧客や利害関係者を特定することができる
	CA1 組織が顧客のためにどのように価値を創造しているかを知っている
2	CA2 組織のセクターと市場を理解し、それらが組織の方向性とパフォーマンスにどのような影響を与えるかを理解している

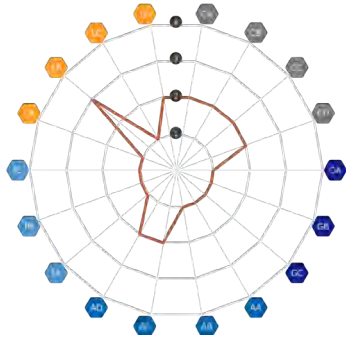
プロフェッションマップは、クオリティプロフェッショナルとして成功するために必要な力量を探索することができる、実用的でナビゲート可能なツールです

[IRCA審査員/監査員の継続的専門能力の開発 \(CPD\) | IRCA](#)

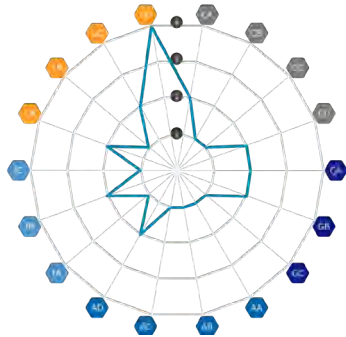
Typical Competence Profile (TCP)

典型的な力量プロフィール Typical Competence Profile (TCP)

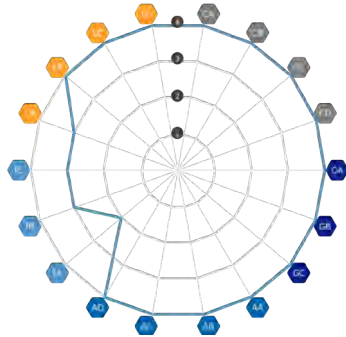
品質エンジニア
Quality Engineer



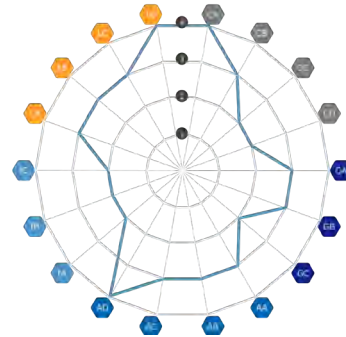
品質コーディネーター
Quality Coordinator



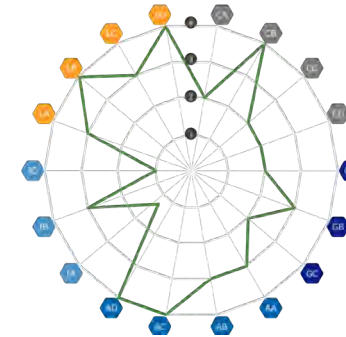
品質担当役員
Quality Director



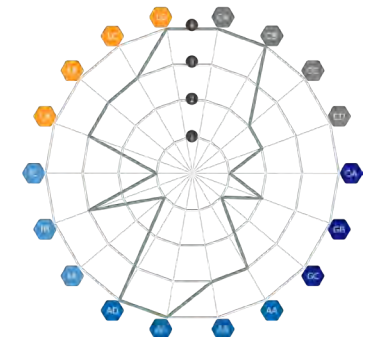
品質管理者
Quality Manager



HSEQ管理者
HSEQ Manager



主任審査員・監査員
Lead Auditor



TCP：一般的なクオリティ関連職務にCQI Profession Mapで説明されている典型的な知識、スキル、行動を反映
このクオリティ関連職務ごとのTCPは、クオリティプロフェッショナルが現在の自身のレベルを理解し、クオリティ関連のキャリアの次の段階に進むため継続的専門能力開発（CPD）の計画を立てるのに役立つ、具体的な力量のベンチマークを提供しています。

- C=状況 Context ● G=ガバナンス Governance
- A=保証 Assurance ● I=改善 Improvement
- L=リーダーシップ Leadership

クオリティワールドマガジン

- クオリティプロフェッショナルのためのグローバルな出版物
- 最新のビジネスニュースや分析、様々な見識、ソートリーダーシップやケーススタディ、ツールなどを掲載
- オンライン版で提供（英文）
- 年6回発行
- 日本では抜粋版や記事の翻訳を提供



レポートとコンテンツ

- ISO規格 ガイダンスレポート
- 毎月2回発行のメールマガジンは、クオリティに関する専門知識やベストプラクティス
- 出版物や資料
- 日本語翻訳版発行
登録メンバーには無料で提供



IRCAに登録するメリット 3

世界に広がるネットワーク

- オンラインイベント（日本国内・世界）に参加
- Network
 - ✓ さまざまな分野や業界の専門グループ
例：サステナビリティ、防衛・監査・防衛産業、医薬品、原子力、医療関連、再生可能エネルギー・統合マネジメントなど
 - ✓ 専門家同士の情報共有・相互学習
 - ✓ メンバーにはグループの活動成果を共有
- 日本のメンバーが活躍した成果を世界へ
クオリティワールドマガジンやWeb上での記事に掲載
- 国際クオリティ賞（IQA） に応募

IRCA登録に関する基本情報

登録グレードのご紹介 1



- 経験と審査/監査実績、力量に応じたレベル（グレード）が設定
- 新規申請時にも要件を満たせば、Auditor以上のグレードで新規申請が可能
- 全グレード学歴要件無し
世界中のクオリティプロフェッショナルに対してバリアとなる要件を撤廃

登録グレードのご紹介 2

Principal Auditor
(プリンシパル審査員)

Lead Auditor
(主任審査員)

Auditor
(審査員)

Associate Auditor
(准審査員/准監査員)

Internal Auditor
(内部監査員)

- 審査実績は第三者審査以外の内部監査や二者監査もフルマネジメントシステム審査を実施できる力量が確認できれば提出可能
* 追加資料は必要

登録グレードのご紹介 3

- グレードごとの研修要件

Associate Auditor

- CQI and IRCA認定 内部監査員コース
- CQI and IRCA認定 主任審査員コース（通常5日間）
- CQI and IRCA認定 審査員コンバージョンコース（通常3日間）

Internal Auditor

- CQI and IRCA認定 内部監査員コース
- CQI and IRCA認定 主任審査員コース（通常5日間）
- CQI and IRCA認定 審査員コンバージョンコース（通常3日間）

Auditor

Lead Auditor

Principal Auditor

- CQI and IRCA認定 主任審査員コース（通常5日間）
- CQI and IRCA認定 審査員コンバージョンコース（通常3日間）

- CQI and IRCA認定内部監査員コースの合格修了では登録申請／昇格不可
- 合格修了証は研修終了日より5年間有効

新規登録申請の流れ



* 登録月は登録授与がされたタイミングで決定（毎月15日区切り）

例：9月7日登録授与 → 9月登録スタート 9月16日登録授与 → 10月登録スタート

費用について

2026年度新規申請にかかる費用 >>料金ページ

グレード		費用(税抜)	費用(税込)
新規申請費 (備考1)	全グレード共通	21,500円	23,650円
年間登録費 (備考2)	Internal Auditor (内部監査員)	26,500円	29,150円
	Associate Auditor (准審査員/准監査員)	26,500円	29,150円
	Auditor (審査員)	37,000円	40,700円
	Lead Auditor (主任審査員)・Principal Auditor (プリンシパル審査員)	38,500円	42,350円
昇格申請費 (備考3)	全グレード共通	13,400円	14,740円
登録更新申請費	全グレード共通	0円	0円

- 新規申請費は最終試験受験日が含まれる月の翌月から3か月以内に申請がある場合は無料です。
- 登録にかかる費用は毎年見直しの対象となっています

登録維持について

- IRCA審査員/監査員の登録有効期限は5年

1年目から4年目は年間登録費のお振込みで登録維持

- 5年ごとの登録更新の要求事項と更新に必要な書類
 - 行動規範を遵守していたことの申告
 - 継続的専門能力の開発（CPD）活動の記録
 - 審査/監査の実績（Associate Auditorは不要）

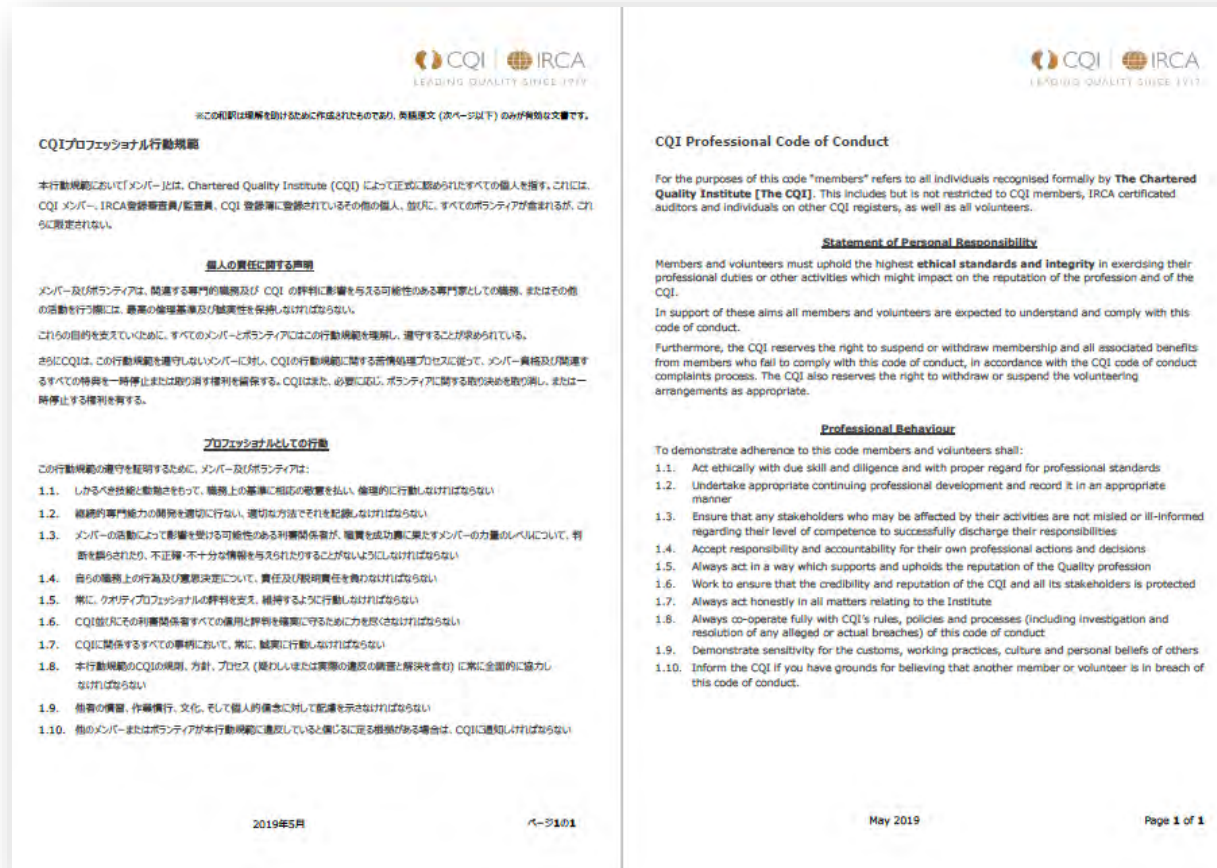
*5年の更新時に年間登録費以外の更新にかかる費用はありません。

*5年の更新が近づきましたらEメールにて手続きについてのご連絡をお送りします。

IRCA 新規申請と提出書類概要

IRCA申請のご案内 行動規範

CQI プロフェッショナル行動規範



申請フォーム パート6

行動規範を遵守する宣誓あり

✓ 個人の責任に関する表明

✓ プロフェッショナルとしての力量及び行動

✓ 倫理規範及び誠実性

IRCA申請のご案内（Associate Auditor）

Associate Auditor申請用のウェブサイトの申請フォーム

- [新規申請フォーム（Associate Auditor用）](#)

申請の際に準備する書類

- [CPDログシート](#) Planのページ（後ほど詳述）
- CQI and IRCA認定コース合格証（PDF、JPEGなど）

IRCA申請のご案内 (Auditor/Lead Auditor)

Auditor/Lead Auditor 以上のグレード用の申請フォーム

- [新規申請フォーム \(Associate Auditor以外\)](#)

申請の際に準備する書類

- [CPDログシート](#) Planのページ
- CQI and IRCA認定コース合格証

- [職務経歴書](#)
- [申請スキーム分野の認識の記述](#)
- [審査/監査ログシート](#)
- [証明人の情報](#)

昇格申請時に
提出する書類と
同様

CQI IRCAのCPD



CQI IRCAのCPDとは

“専門的・技術的な職務を遂行するために必要な知識、技能、**個人の固有の力量**を体系的に維持、向上、拡大すること”



登録メンバーがCPDを行う目的

- 最新の状況の変化に対応するため
- キャリアアップ
- 自分自身の固有の真に有効で必要な力量を身につけるため



グレード問わず、IRCA登録メンバー全員が実施する活動

CQI IRCAのCPDとは

2種類のCPD

- 規格の改定に伴うCPD
 - ✓ 『移行ポリシー』で更新すべき力量をCQI IRCAが公表
 - ✓ CPD活動の計画に含める *移行対象スキーム登録の場合
 - ✓ 3年の登録移行期間
 - ✓ 頻度は低い
- 個人の力量開発の目標に応じて自由に設定するCPD

CPDのPDCAサイクル - Plan -

今後開発が必要な力量の特定のために検討すべき項目:

- 強みと弱み
- 組織内等の年次のレビュー
- 組織で自身が求められている達成すべき目標
- 同僚からのフィードバック
- 所属する組織のゴール
- 個人としてのキャリアのゴール

CPDの記録 - CPDログシート -

Example

氏名: xxx xxx CQI|IRCA 登録番号: 61xxxxx

期間: 2021年 6月 ~ 20 年 月

CPDログシート - PLAN

目標を決定されましたら、下記の表に記入してください(5年の間に新しく立てた目標は順次追記します。必要に応じ欄を追加してください)。
 新規申請・登録の更新の際には少なくとも3つの目標を決定し、計画している活動、活動開始予定日、目標達成予定日を記載してください。目標はいつでも変更可能です。目標を達成しましたかの列は随時更新し、登録の更新の際には達成状況を記載してください。

学習及び開発の目標	計画している活動 <small>*計画している活動の具体的な予定である必要はありません。</small>	活動開始予定日 <small>(目標に向けて活動を開始する日) *目標設定から3カ月以内に設定するのが望ましい</small>	目標達成予定日 <small>(この目標を達成したいと考えている日) *活動開始日から12カ月以内に達成することが望ましい</small>	目標を達成しましたか <small>(はい/いいえ) *次の更新期間へ目標達成を持ち越すことも可能です</small>
1. コミュニケーション能力、交渉し影響を与えるスキルを改善し、チームのマネジメント力を向上させる	・ ファシリテーションの本を読む ・ Quality Connect への投稿やディスカッションへの参加	2021年6月1日	2022年5月31日	
2. EMS 審査員登録をし、自分の職務の範囲を広げて、EMS 審査サービスを提供するという組織の目標をサポートする	IRCA 審査員コンバージョンコースを受ける	2021年9月1日	2022年8月31日	
3. 品質業務における各種変更に関する知識や技能を最新の状態に維持する	IRCA からの情報をオンタイムで確認する	2021年6月1日	2022年5月31日	

IRCA|JP 173 | May 2021
 ※本ログシートをハードコピーで提出する際に、ホッチキスやクリップは使用しないでください

- 氏名・登録番号
- 期間を設定
- 学習及び開発の目標を3つ記載
- 適宜、修正・追加が可能
- 計画している活動
- 活動開始予定日
- 目標達成予定日
- 目標を達成しましたか

CPDの記録 - CPDログシート -

Example

CPDログシート - DO, CHECK and ACT

年間を通じて、CPD 目標に関連して実施された活動をすべて記録してください。

1. DO の列: ご自身のCPD 目標を達成するために実施された活動を記録します
2. CHECK の列: 学習されたことと、それが計画で定めたとの目標に関連するものかを記録します
3. ACT の列: 学習されたことをどのように生かしていますか、将来どのように活用していく予定かを記録してください

ご自身の目標達成に役立つ専門的な活動はすべて記録していただけます。目安としては、年に 10 ~ 15 時間をご自身の専門能力開発に当てられるとよいでしょう。必要に応じて行を加えてください。

CPD活動の記録 - Activity log

実施した日	実施した活動 (Do)	何を学びましたか (Check)	学ばれたことをどのように生かしていますか (Act)
*期間に幅があっても可 2021年6月15日 ~ 2021年8月31日	Quality Connectで 監査チームのマネジメント のトピックを立てて IRCAの他の登録者と 意見を交わした	この活動は、「目標 1 コミュニケーション能力、交渉し 影響を与えるスキルを改善し、チームのマネジメント 力を向上させる」に関連 IRCAの提供するディスカッションボードQuality Connectに監査チームのマネジメントのキーポイントにつ いてトピックを立て、私の経験と知識を書き込むと共に 同じような課題を持つ登録者とともに効果的な声がか けをしているか、ツールを使っているかなどを知る機会を得 ることができた。	監査チームのマネジメントをし、内部監査を進める際に、 ここで学んだことを実際に試した。以前は監査に前向き に取り組むことができないでいた若手のチームのメンバー たちと、監査の目標の共有や意欲を高める声かけをする ことができた。手ごたえを感じたのでこの経験をQuality Connectに経験談としてフィードバックをする予定。

IRCA CPD Log Sheet May 2022
※本ログシートをハードコピーで提出する際に、ホッチキスやクリップは使用しないでください

- 実施した日・期間
- Do 実施したCPD活動の記録
- Check
CPD Planで定めた関連する目標
学び取ったことの記録
- Act
学習されたことの活用
今後の活用予定を記録
- 目安：年10-15時間程度

【参考】 CPDについて検討するときには...

CPDについて検討する際のヒント:

- 自分のスキルや知識はどれだけ最新か
- ハードスキル以外のソフトスキル
- 個人としての自分について考える
- 常に自分の進歩を振り返る



クオリティプロフェッショナルとしての進歩・発展

Auditorグレード以上で求められる 追加提出書類

職務経歴書の作成 (Auditor以上)

別紙: 職務経歴書/職務経歴書入力フォーム (*Associate Auditorは作成不要)

申請者氏名: ●●●□□

番号	所属組織 ¹⁾	所属部門 ²⁾	役職 ³⁾ または 役割 ⁴⁾	担当時期 ⁵⁾ (西暦,年月)	期間 (年)	スキーム ⁵⁾	当該期間に経験した実務 ⁶⁾ の詳細 ⁷⁾ 期間中に開発した能力 ⁷⁾ (達成した西暦年度)
1	●●製薬株式会社	研究本部	一般職係長	1982 ~ 1995	14	—	(1) 天然物からの新規物質の探索に従事し、新規制癌活性物質を発見 (学会誌に投稿) <a.参照> (2) ▲■大学医学部派遣 (研究成果を学会誌に投稿) <b.参照> a. xxx Journal Vol.44 No.4, p. 4xx-45x (19xx年) b. 日本●●学会誌 43, Supple ●, P. xx-xx (19xx年)、他
2	同上	品質保証部 薬事監査部	課長 申請資料監査責任者	1996 ~ 2012	16.5	Q	(1) 医薬品 GMP 内部監査に従事 (2) 医薬品 GLP 内部監査に従事 (3) 医薬品申請資料 (品質 M3 領域) の内部監査体制を構築整備し、内部監査を統括して申請資料の品質と信頼性を確保 a. — (— 年)
3	同上	CSR 推進部	副部長 内部環境監査統括	2012 ~ 2016	4.5	E	(1) ●●製薬グループに EMS OEA を導入 (2) 各工場の内部監査員を養成・指導し、環境内部監査をリード (3) ●●製薬グループ環境安全リスク評価体系を構築し運用開始 a. IRCA QMS 審査員補資格習得/IRCA 移行研修 (R.Green 氏) 修了 b. IRCA EMS 内部監査員資格習得/IRCA 認定(OEA) 移行研修修了 c. IRCA TTT コース (R.Green 氏) を終了 (2013年) d. IRCA ISO45001 コース (R.Green 氏) を受講 (2016年/2018年)
4	株式会社□□	—	顧問	2017 ~ 現在	0.5	Q/E	(1) CSR 体制および品質保証体制の構築を指導 a. — (— 年)


職務経歴期間の確認	該当実務 (番号)	経歴合計 (年)
職務経歴全体	1 ~ X	36
申請するスキーム ⁵⁾ に 関連する職務経歴	Q 2, 4 E 3, 4	17 5

- 書式自由 (別の書式を使用すること、ほかで提出したものを修正いただいたものでも可)
- 社会人経験の長さの要件なし
- 申請スキームに関連する業務内容を詳述
- 申請スキームにより固有の要求事項あり

* 参照: [登録スキームページ](#)

申請スキーム分野の認識 (Auditor以上)

- 書式自由
 - Wordに入力可
 - 本書式の加工可
- 申請するスキームごとに記載
- 論述するテーマの例
 - ✓ 申請分野において目的を達成するための要素
 - ✓ 申請分野の審査員／監査員にとって最も重要な知識
 - ✓ 申請分野の監督機関および規制当局
 - ✓ 申請分野のマネジメントシステムにおける固有の要素
- 字数制限なし



別紙：申請スキーム分野関連の認識 記載フォーム 申請者氏名： _____

*必要に応じて行数を足してください。不要な箇所は削除していただいて構いません。 (Xスキーム申請のうちY)

1. 申請スキーム (スキーム毎に記載)	
2. 論述するテーマ	
3. 認識の論述 (認識を得た経験の概要、経験から得た気づき/認識に至った経緯、認識と規格との関係性)	

記載ガイドンス

- 申請スキーム**
 - 以下のリストから、本書に記載するスキーム1件を選択し記載する。
 - 品控 (QMS) / 環境 (EMS) / 労働安全衛生 / 食品安全 / 情報セキュリティ / 品質保証サービス / 建築関係
 - ISO 9001 / 環境法 / 食品衛生法 / 労働安全衛生法 / 個人情報保護法 / 情報セキュリティ法 / 建築関係
- 論述するテーマ**
 - 以下のリストから、本書で論述するテーマ1件を選択し記載する。
 - 論述に以下のテーマが必須な場合は「その数」以上とし、括弧内にそのテーマを記載する。
 - 論述に複数のテーマが不可避の場合は、2件以上のテーマの選択も可とするが、テーマ毎に以下の認識の論述に要求されるすべての事項を漏らさず記載する。
 - (参考： 論述するテーマの数は、指定分野に依存しません。)
 - 申請分野において目的を達成するための要素
 - 申請分野の審査員 / 監査員にとって最も重要な知識
 - 申請分野の監督機関および規制当局
 - 申請分野のマネジメントシステムにおける固有の要素
- 認識の論述**
 - 認識を得る原因となった実務経験の概要、その経験から得た気づきや認識に至った経緯、および、自身の経験と申請スキーム規格要求事項との関係性を論述する。
 - (参考： 文字数は不問。必要に応じて特記添付して可。) *

*申請スキームが複数の場合は、X(スキーム総数)、Y(申請数)を記載し、1スキームの場合に本頁を複数する。
*本ガイドンスの各欄を削除して申請する。

審査/監査ログシート

IRCA Audit Log IRCA 審査/監査ログシート

※本ログシート及び添付書類にホッチキスやクリップは使用しないでください。

氏名 (以下入力)	登録番号 (以下入力)	現在の登録グレード (登録者のみ)	宣誓: 全ての提出情報が正確であり、私が実施した審査/監査であることを宣言します。 注記: IRCA は提供された情報を検証する可能性があり、意図的に偽造された情報の提供が発覚した場合、登録が取り消されることがありますのでご注意ください。						
			はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
審査/監査 番号	日付 (西暦年/月/ 日) 【記述内容】 現地審査/監 査の開始日 及び終了日	審査/監査日 数 【記述内容】 申請者が参 画した日数 (現地外日 数含む)	被審査/被監査組織の 連絡先詳細 (受査組織) 【必要情報】 ※被審査/被監査組織名 ※所在地 (住所) ※被審査/被監査組織担当者名 ※電話/FAX 番号 ※E-メールアドレス ※組織の規模 (例: サイト内の従業員数)	審査/監査で の役割 【記述内容】 ※LA - 主任 審査員 (チー ムリーダー) ※SA - 単独 審査員 ※A - 審査 員 (チームメ ンバー) ※IA - 内部 監査員 ※T - 見習 い審査員	審査/監査予 一人の人数 (申請者を 含む)	審査/監査規 格 (例: ISO 9001:2015) 【記述内容】 ※正式の規 格名 (年版 を含む) ※担当した規 格すべて	審査/監査の種 類 【記述内容】 ※TPA ※事前審査 ※第一段階 ※第二段階 ※サーベイランス ※SPA ※FPA ※CON ※フルシステ ム(部分システ ムと適切に記 載してください) (指針を参 照)	雇用組織の連絡先詳細 【必要情報】 ※組織名 ※所在地 (住所) ※担当者名 ※担当者の役職 ※電話/FAX 番号 ※E-メールアドレス	力量の保証 (審査/監査が適切且つ専門的に 実施されたこと、及び、提供されて いる情報が正確であることを保証す る人物) 【必要情報】 ※氏名 ※役職 ※審査員登録番号 (該当する場合) ※電話/FAX 番号 ※E-メールアドレス
1									

IRCA/106/1 (Feb 2020)

提出可能な審査/監査の実績

- 申請から5年以内の実績
- 認定審査員トレーニング
コース合格修了後の実績
- フルマネジメントシステム
審査を実施できる力量があ
るものが実施した審査/監査
実績

審査/監査 内部監査実績

内部監査の実績の受入

Auditor/Lead Auditorグレードへの新規申請及び昇格において、内部監査の実績を下記の条件で受け付けることが可能

- フルマネジメントシステム審査を実施できる力量があること
 - 上記を示すために、監査ログとともに下記情報を提供してください。
 - 会社の組織図
 - 監査報告書や計画書のサンプル
 - その他、申請者の申請内容を裏付ける追加の情報（尚可）
- * 機密情報は黒塗り可

登録グレード 審査・監査要件1

Auditor
(審査員)

- 少なくとも4回の審査/監査経験
 - 総審査/監査期間は計20日間以上であること
- 且つ
- これらの総審査/監査期間のうち15日間は現地審査/監査の実績であること

〔留意事項〕

- フルマネジメントシステム審査/監査の力量が確認できること
- IRCA認定審査員トレーニングコースの合格修了後の実績であること
- 5年以内の実績であること

登録グレード 審査・監査要件2

Lead Auditor (主任審査員)

Auditor (審査員) の審査/監査実績に関する要件の充足
(計20日間以上の総審査/監査期間となり、15日間は現地審査/監査に当たったことのある4回以上の審査/監査経験を有すること)

および、上述要件とは別の

- 2名以上の審査チームのリーダーとして、3件以上の審査/監査経験
- 審査チームのリーダーとしての総審査期間は少なくとも計15日間以上であること
- そのうち10日間は現地審査/監査の実績であること

[留意事項]

- [フルマネジメントシステム審査/監査の力量](#)が確認できること
- IRCA認定審査員トレーニングコースの合格修了後の実績であること
- 5年以内の実績であること

登録グレード 審査・監査要件3

Principal Auditor
(プリンシパル審査員)

ISO認証機関での3年以上のマネジメントシステム関連
業務経験

または

IRCAのAuditor（審査員）もしくはLead Auditor（主任
審査員）グレードでの5年以上の登録

登録グレード 審査・監査要件4

Internal Auditor
(内部監査員)

□ 5回以上の内部監査経験

[留意事項]


- 1回の監査は、最低3時間以上とする
- 1回の監査活動に監査サイクル (監査計画、文書レビュー、監査、インタビュー、監査報告) のすべての要素を含んでいること
- 監査対象は自身の活動領域または活動そのものを含まないこと
- IRCA認定トレーニングコースの合格修了後の実績であること
- 5年以内の実績であること

証明人の情報

証明入

- 申請スキームに関する業務を評価する力量がある
且つ
 - 申請者の本人確認と申請書への記載の情報が知りうる限り正しいことを証明できる
- * 証明入の署名不要
* 証明入はIRCA登録である必要はなし

IRCA 申請書



CQI | IRCA
LEADING QUALITY SINCE 1919

Part 13 – 証明入の情報 *Associate Auditorは不要

申請スキームに関する業務を評価する力量があり、目下申請者の本人確認と申請書への記載の情報が知りうる限り正しいことを証明できる方の下記情報を記載してください。

証明入氏名 (フリガナ)	
証明入氏名	
証明入のメールアドレス	
証明入の電話番号	
証明入の所属先	
申請者との関係	
IRCA登録番号 (登録している場合)	
証明入が保持する専門資格 (保持されている場合)	

9 of 9: IRCA Japan application form for certification May 2021

jp.irca.org

申請の際の注意点

申請の際の注意点

- 新規申請費のお支払いが未完了
- CQI and IRCA認定トレーニングコースの合格証以外の添付
- PDF添付等を受け付けないメールアドレス
(キャリアメールなど)
- 住所の記載に番地の記載なし
 - 不備があっても、IRCAジャパンよりお問い合わせして申請完了まで進みます。一度の書類提出で申請が無効になることはございません

登録者のみなさまの声

名刺にIRCA Auditor
と入れたら、海外
では相手の態度が
ガラッと変わり、
びっくりした。言
われていることは
本当でした!

IRCA登録がある
ことを示すと、二
者監査先の担当者
の対応が違います。

IRCAに登録されている**海
外の監査員と対等**やり合
うためには、自分にも
IRCAの登録が**絶対**に必要
だと痛感しました。



IRCAに登録したことで社
内において**専門家**として
認められ、自分の意見が
より一層取り入れられる
ようになりました。



Q&A 質問をおねがいします

申請は新規申請フォームをご利用ください

ご郵送は下記まで

〒102-0083

東京都千代田区麹町3-5-2

ビュレックス麹町8階

IRCAジャパン

<https://japan.irca.org/index.html>